

取付方法

本体を取り付ける

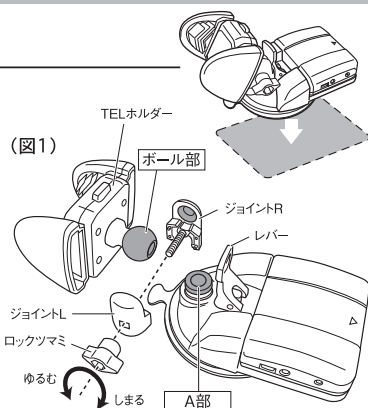
必ず安全な場所に停車して行なってください。

A 吸盤クレイドルで取り付ける場合

ご購入時は、吸盤クレイドルとTELホルダーが分かれた状態で梱包されています。はじめに、吸盤クレイドルにTELホルダーを組み立ててください。(図1)

- 1 ロックツマミをまわし、左右にゆるめます。
- 2 ボール部とA部をジョイントL/Rではさみ、ロックツマミを締めます。

注意 組み立て後、本製品が確実に組み立てられているか必ず確認してください。



本製品の取り付け

■取付方法

1 取り付け場所の確認をする

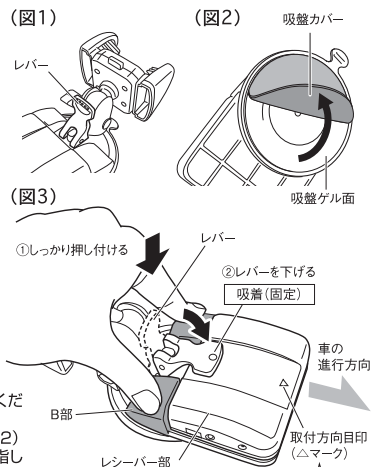
- 注意**
- ・車種によっては本製品の取り付け跡が残ったり、変形したりします。また、日焼けによる周囲との色の差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。
 - ・本製品の取り付け場所・各ケーブルの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響・また、車載の電装装置(地上波デジタルTVチューナー・カーナビゲーション・ETC装置等)・周辺機器の影響を受ける場合があります。その場合は十分間隔をあけて設置してください。
 - ・本製品のアナウンス・警告音は、スマートフォンのスピーカー等の音声出力にゆだねられます。設置場所によっては聞こえにくい場合もあります。
 - ・レシーバー部側面への、シガー電源ケーブル・microUSBケーブルの取り付けに支障がないことを確認してください。

2 取り付け場所の汚れを落とします。

本製品を取り付けるダッシュボード等のゴミ・汚れ・保護剤等をきれいに取り除き、乾かします。(脱脂作業)

3 本製品を取り付けます。

- ・本製品のレバーが上がった状態になっていることを確認してください。(図1)
- ・吸盤クレイドル底面にある吸盤カバーをはずしてください。(図2)
- ・レシーバー部の取付方向目印(△マーク)が車の進行方向を指していることを確認し(図3)、B部をしっかりと押さえ、取り付け場所に吸盤ゲル面を押し付けた後、(図3-①)レバーを下げて吸着させます。(図3-②)



設置は、レシーバー部の取付方向目印(△マーク)が進行方向をさすように取り付けてください。

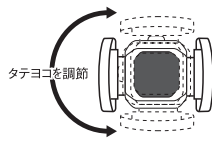
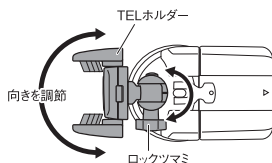
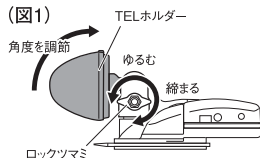
- 注意**
- ・吸盤ゲル面に手を触れたり、ホコリ等を付けたりしないようご注意ください。
 - ・吸盤を押さえる際は必ずB部を押さえてください。レシーバー部やその他の場所を押さえると破損の原因となります。
 - ・取り付け後、本製品が確実に取り付けられているか必ず確認してください。

取付方法 (つづき)

■角度調節方法 ※必ずスマートフォンをはずした状態で行なってください。

- 1** ロックツマミを少し緩めた状態でTELホルダーの角度と向き・タテヨコを調節した後、ロックツマミをしっかりと締め固定します。(図1)

(図1)



(図2)

(図3)



・TELホルダーが前傾になっている状態で使用しないでください。(図2)

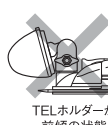
・TELホルダーの向きにご注意ください。(図3)

注意 ロックツマミを緩めずに角度調節を行なったり、無理な力を加えたり、引っぱったりしないでください。破損・故障の原因となります。

・スマートフォンをホールドしたまま調節をしないでください。

・定期的にロックツマミの増し締めを行なってください。

・調節後、TELホルダーが確実に固定されているか必ず確認してください。



TELホルダーが
前傾の状態



TELホルダーの
向きが逆

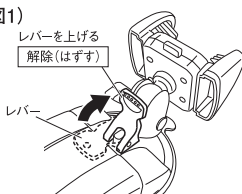
■取りはずし方法 ※必ずスマートフォンをはずした状態で行なってください。

- 1** 本製品のレバーを上げます。(図1)

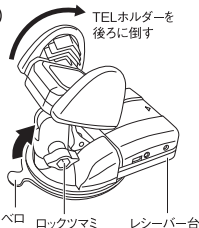
- 2** ロックツマミを少し緩めた状態で、TELホルダーを後ろに倒し、ペロを引き上げます。(図2)

- 3** 吸盤ゲル面にホコリ等がつかないように、必ず吸盤カバーをかぶせてください。(図3)

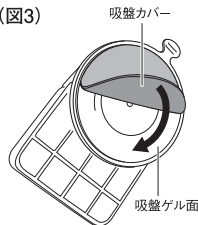
(図1)



(図2)



(図3)



注意 ・ペロを一気に引き上げますと、レシーバー台が取り付け面に当たり、内装に傷がつくおそれがあります。(図2) また、車種によっては、ダッシュボードの表面素材強度が弱いものがあります。取りはずしの際は、注意しながらゆっくりと取りはずしてください。



警告

ご使用前に必ずお読みください。

・走行中、運転者は安全のため絶対に本製品の操作・調節をしたりしないでください。



注意

ご使用前に必ずお読みください。

●本製品に無理な力を加えないでください。破損や変形の原因となります。●本製品の脱着を防ぐため、走行前に本製品がしっかりと固定されていることを確認してください。●吸盤ゲル面にホコリやゴミが付き、吸着効果が低下した場合は、スマートフォン・レシーバー部等をはずしてから吸盤ゲル面のホコリやゴミを水で洗い流し、十分に乾かしてご使用ください。その際、シンナー・ベンジン・洗剤を使用したり、無理に力を加えないでください。●本製品がダッシュボード部にしっかりと吸着できない場合は使用を中止してください。●直射日光の当たる場所での長時間の使用や走行中の振動により、本製品がはずれてしまう場合があります。乗車ごとにとりかかりと固定されているか確認してください。●本製品装着による車両の取り付け跡や変形についての責任は一切負いかねます。●本製品脱着により生じた事故や本製品およびスマートフォンの破損・故障については当社は一切の責任を負いかねます。●誤った取り付け・使用・分解・改造・加工は絶対におやめください。これらに起因する本製品およびスマートフォン等の破損・故障・損害について当社は一切の責任を負いかねます。

取付方法

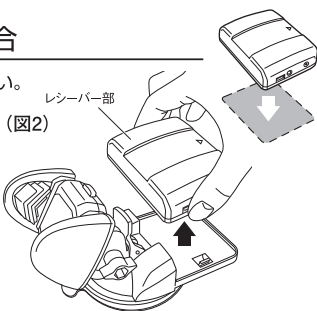
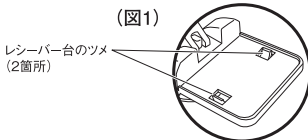
本体を取り付ける

必ず安全な場所に停車して行なってください。

B レシーバー部を切り離して使用する場合

はじめに、吸盤クレイドルからレシーバー部を取りはずしてください。

レシーバー部は、レシーバー台のツメ2箇所まで止められています。
(図1)レシーバー部側面を持ち、左右に揺らしながらゆっくりと引き上げてください。(図2)



注意

レシーバー部底面には、本製品のアプリケーションを使用するための大切なシリアルナンバーが貼ってあります。レシーバー部を取り付けると、この番号が確認できなくなるため、SAから始まる8桁の番号をお控えください。

SA00000000



取付方法

本製品以外に必要な物

●両面テープ：1枚(市販品／要別途購入)

(70mm×50mm程度でダッシュボードにしっかり貼り付けができる物)

1 取り付け場所の確認をする



注意

- ・車種によっては本製品の取り付け跡が残ったり、変形したりします。また、日焼けによる周囲との色の差が出る場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本製品の取り付け場所・各ケーブルの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響・また、車載の電装装置(地上波デジタルTVチューナー・カーナビゲーション・ETC装置等)・周辺機器の影響を受ける場合があります。その場合は十分間隔をあけて設置してください。
- ・レシーバー側面への、シガー電源ケーブル・microUSBケーブルの取り付けに支障がないことを確認してください。

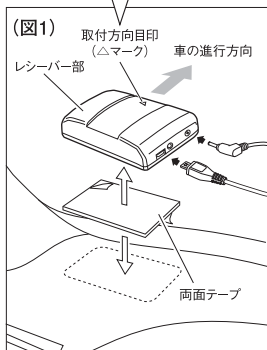
設置は、レシーバー部の取付方向目印(△マーク)が進行方向をさすように取り付けてください。

2 取り付け場所の汚れを落とします。

本製品を取り付けるダッシュボード部のゴミ・汚れ・保護剤等をきれいに取り除き、乾かします。(脱脂作業)

3 レシーバー部を取り付けます。

- ・レシーバー部の取付方向目印(△マーク)が車の進行方向を指しているか確認してください。(図1)
- ・レシーバー部底面に両面テープを貼り、ダッシュボードへ一度でしっかりと貼り付けます。(図1)



注意

- ・取り付け後、本製品が確実に取り付けられているか必ず確認してください。

<両面テープ貼り付けについての注意事項>

●両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。●両面テープの貼り付け面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。●レシーバー部がしっかり固定されるまで強い力を加えないでください。●車種によっては、ダッシュボードの表面素材強度が弱いものがあります。取りはずしの際は、注意しながらゆっくりと取はずしてください。また、粘着剤が残ってしまった場合は市販のノリはがし剤等をご使用ください。●その他両面テープの特性につきましてはご購入の両面テープ説明書をご覧ください。

取付方法 (つづき)



警告

ご使用前に必ずお読みください。

- ・走行中、運転者は安全のため絶対に本製品の操作をしたりしないでください。



注意

ご使用前に必ずお読みください。

●レシーバー部に無理な力を加えないでください。破損や変形の原因となります。●レシーバー部の脱落を防ぐため、走行前にレシーバー部がしっかり固定されていることを確認してください。●直射日光の当たる場所での長時間の使用や走行中の振動により、レシーバー部がはずれてしまう場合があります。乗車ごとにしっかりと固定されているか確認してください。●レシーバー部装着による車両の取り付け跡や変形についての責任は一切負いかねます。●レシーバー部脱落により生じた事故やレシーバー部の破損・故障について当社は一切の責任を負いかねます。●誤った取り付け・使用・分解・改造・加工は絶対におやめください。これらに起因するレシーバー部の破損・故障・損害について当社は一切の責任を負いかねます。